

授業科目 民俗学

【担当教員名】 池田哲夫	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・栄養・林・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

民俗学の基本的な内容を理解できるように講義する。講義内容は、民俗学の特徴、民俗学の方法について概説的な講義の後、新潟県内の農村や漁村における年中行事や祭りなどにみる民俗事例を取り上げ、その民俗学的意義を考える。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

日々の暮らしのなかの民俗事例をとおして、その意義を民俗学的に理解することを目標とする。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	柳田國男と民俗学		
2	民俗学の方法		
3	自然と民俗		
4	車田植		
5	子どもとしつけ		
6	祈りと祭り		
7	田遊び		
8	海の交流		
9	忌みの日		
10	盆行事		
11	小正月		
12	祭りに備えるーやぶさめー		
13	裸押し合い祭り		
14	ムラの境の凧人形		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	池田哲夫『近代の漁撈技術と民俗』2004	吉川弘文館		
	新潟県『新潟県史』資料編22, 23			
その他の資料	授業中に適宜紹介する。			

【評価方法】 出席30%、レポート70%で評価する。	【履修上の留意点】
-------------------------------	-----------

全科共通科目 教養